



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 “Be Agents of Change” [変革の担い手になろう] 押し寄せる挑戦に応えるために
 アジア会長標語 “New thinking New action!” [新たな思考で、新たな行動を!]
 西日本区理事標語 “Serve as a bridge for the future” [未来に架ける橋]
 中部部長標語 [高めようリーダーシップ 築こうネットワーク]
 クラブ会長標語 「ワイズスピリットと個性を生かして地域へ出よう!!」

2003年10月号

＜今月の聖句＞

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。
 [ヨハネによる福音書 15 章 5 節]

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2003年10月例会ご案内

◎第一例会

と き : 10月2日(木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00～
 ドライバー : 阿部君

今後の諸行事について審議確認します。

- ・国際協力街頭募金
- ・チャリティーラン
- ・YMCAまつり
- ・クリスマス例会
- ・合同例会
- ・フリーマーケット
- ・その他

◎第二例会

と き : 10月16日(木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00～

◎その他

1. 国際協力街頭募金
 と き : 10月5日(日)
 ところ : 星が丘三越前
 詳細は第二例会議事録参照
2. チャリティーラン
 と き : 11月1日(土)
 ところ : 名城公園

9月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(9月)	
	在 席 者	16名	第 1 例 会	15名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	15名	第 2 例 会	8名	当 月・現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	94%	部 会 他	9名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

9月第一例会報告



今回の卓話の講師は健康管理士の坂野順造さんでした、彼は私の高校の同級生で本業は服飾デザイナーでレナウン本社のデザイナーとして、イタリアと日本を往復生活の中で病気となり、東洋医学療法で病気を克服した経歴の持ち主で、健康管理士の資格を取り自分の経験に基づいた知識をお話ししていただきました。

卓話の最初は、アメリカのジャガイモとフィリピンのバナナ生産工場のビデオを30分見ました、内容は収穫後にたくさんの農薬（非腐食剤）のシャワーのように振りかけそこに従事する従業員も農薬に体を侵されている、ショッキングな映像でした。その農薬は発ガン性物質が多く含まれていることが、アメリカの研究室で確認されている薬剤です。最近の野菜、果物が腐らなくなっていることを実感しています。

その後の話は、白米、牛乳、肉、白糖、アミノ酸等、通常体に良いとされている食材についての危険性について語られましたが、これについては過度の摂取をしなければ人間の体が悪い部分を自然排出するので大きな問題とはならないが、偏食は避けた方が良く、出来るだけ日本古来の食材、玄米、豆乳、黒糖、大豆、味噌、納豆、無農薬野菜を多く摂るような心がけが大切との話でした。



確かに安全な食材は、高価でなかなかそればかりを選んで食することは現実的には難しいことですが、医療費の負担がどんどんと多くなっ

ている中、食材に多少のお金を使っても結果的に、病気にかからない、病院にお金をかけない方が良いという考えを語っていると私は感じました、彼にはEMCを考えていますのでまた例会等に参加した時はメンバーの方よりしく願ひいたします。 坂野清治

中部部会報告



ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

第7回 中部部会報告

9月21日（日）名古屋国際会議場にて第7回中部部会評議会・部会及びメネット会が開催された。区内外を含めて予想以上の出席者があり橋爪部長の人柄を伺うことができた。



部会前の評議会は①前年度事業報告、決算報告②今年度の事業計画のうち特に中部ホームページの立ち上げ及び部則改訂について③次期部長として川村孝治氏（金沢犀川）、次期部会ホストクラブ金沢犀川クラブの確認④次々期部長選出について立候補者がいない場合はクラブ輪番制とすることを確認の上、立候補者がなく、輪番として南山クラブに次々部長をお願いするとした⑤部会献金先としてメネット会国内プロジェクト「絵本づくりプロジェクト；アフガンニスタン文学を絵本にする」等を審議承認した。

第7回部会では①橋爪部長よりワイズ運動の

原点である、他者の思いやりをもって活動、八



木東海クラブ会長はワイズが強くなければYMCAも強くなれない、大野西日本区理事ワイズがどう変わるか等それぞれ挨拶した。記念講演では西日本区中上紳一郎連絡主事がこれからの日本YMCAがどのような視点で運動を展開するか講演を行なった。第3部懇親会は会場を名古屋市内が展望できる7階に移し着席形式で行なわれた。



アトラクションには「モンゴル伝統の竹笛の調べ」でジリン・パヤル氏による心洗われる竹笛の音に会場はうっとりとして聴きいていた。抽選会でグランパスは大当たり、米あり、メロンありと相変わらず景品に強いクラブである。



出席者；松原誠、佐々木忍、坂野清治、佐藤 壽
晃、鈴木一弘、三井秀和、服部庄三、
荒川恭次、吉田正
メネット会；吉田多美子、荒川恒子、早川弘美、
服部智子 以上メン9名 メネ
ット4名



9月第二例会報告

日 時：9月18日（木）午後7時～午後8時

場 所：YMCA 407号室

出 席：坂野清治、荒川恭次、服部庄三、佐々
木忍、井川幸吉、松原 誠、坂倉 洋、
吉田正、ゲスト下村さん 以上9名

役員会内容

I 諸報告

1. 根の上50周年の集い

飲み物売り上げ及びチャリティーラン募金で合計21,000円強集まった。これらはチャリティーラン運営資金として寄付する。

2. ジャガイモ等発注数：申し込み者は10月第2例会までに会計担当早川君に支払こと。尚、10月25日前後に届くので連絡があり次第Yまで引き取りに来ることとした。

3. 中部部会；9/21（日）：評議会、部会等参加者の確認を行なった。

4. YMCA報告；特になし

II 調整・協議

1. 国際協力街頭募金（10/5）について

- ・募金会場は星が丘となり、現地集合のメンバーは午後1時星が丘三越正面玄関前にて集合。
- ・Y集合メンバーは10時30分集合、11時か

ら少年の集い開始。

- ・ 出欠席未定のメンバーは早急に担当佐藤君まで連絡のこと。
- ・ 同会場担当のリーダー会（レンジャー）と10月2日に交流会をしたい旨佐藤君が企画しているので、10月担当ドライバーと会長が調整をするとした。

2. チャリティーラン準備進捗状況について
坂倉君より①グランパスワイズよりCS資金を申請する予定で準備中②グランパスの協力のお陰でTシャツ代購入資金のめどがついた③開会式等のファンファーレ担当に佐々木君のコメントの協力願いたいとの依頼があった④ラッフルの景品集めに苦労することが予想されるので協力願いたい旨の報告があった。

3. 10月第1例会；10／2（木）について
ドライバー 阿部一雄君 開会点鐘 松原誠副会長（会長出張不在のため）

※秋のYMCA諸行事について基本的な事柄を審議、決定する。

- ・ チャリティーラン；11／1（土）運営、ランナー他 坂倉君
 - ・ YMCAまつり ；11／9（日）模擬店等出し物他 井川君・早川君
 - ・ グランパスファミリークリスマス会；12/6（土）荒川君・阿部君
- ※内容、広報。運営等他

4. ブリテン10月号原稿締切9月22日（月）
※9月27日（土）には発行したいので原稿を上記期日までに願いたい。

以上

根の上キャンプ 50 年の集い

2003年9月15日 好天の中「根の上キャンプ場の創立50周年記念の集い」が行われました。文字よりは画像で雰囲気をお伝えします。



参加者約130名。創立時からのキャンパーが集まりました。年齢差は相当のもの。老いも若きも楽しい思い出を共有した一日でした。



超OB連の思い出スピーチは心に染み入るものがありました。特に創設期の話は先輩から伝え聞いたことはありますが、ご本人から聞いたのは初めてです。



メインロッジにて肅々と式典が進みました。いつもはひっそりとしたメインロッジもこんなに人が集まったのは何年ぶりのことでしょう。



キジが原で行われた超OB連による厳粛な旗上げ式。旗下げ式は次世代を担う子どもたちが行いました。



50年分のメンバーの寄せ書きでいっぱいになりました。



キャンプソングの最終レコーディング。CDの出来が楽しみです。名古屋の本館で録音されたものに今回の「ハッピーホセ」と「われはフクロウ」が追加されました。



野外パーティーのひとつ。食事の後、キジが原では懐かしいキャンプソングをみんなで合唱しました。



グランパスの面々は飲み物販売で疲れました？。ビールを売って得られた収益はチャリティーラン運営資金に寄付します。



これは9月に実施した、愛する会メンバーによるワークキャンプ風景です。キャビン・トイレの屋根がきれいになりました。でも疲れました。ワークキャンプは随時行われてメンテナンスされていますので、いつでも快適に使える状態を保っています。次回はグランパスメンバーも多数ご参加ください。自分の手で補修すれば愛着も倍増します。



なつかしい備品類。まだまだ現役です。雑木を集めて炊いたご飯。ランプの灯りだけで過す神秘的な夜。自然に戻るためのツールが根の上には揃っています。これらもメンテナンスが行き届いています。



メインロッジにある根の上を愛する会メンバーの名札。今回も新しいメンバーが入会しました。会費は根の上キャンプ場の設備を維持する上での貴重な財源です。



9月に本館で行われたキャンプソングのレコーディング風景。懐かしい顔がたくさん集まりました。根の上での最終収録の後、編集なしでCDが製作されるそうです。今回参加された方には全員に配られると聞いています。

過去から・・・



今も昔も変わらぬ風景の根の上湖。

今を經由して・・・



入り口からメインロッジへの小道も昔と同じ。未来もこのままでしょうか。

そして・・・未来へ・・・